



令和2年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和2年4月14日

上場取引所 東

上場会社名 ダイト株式会社

コード番号 4577 URL <http://www.daitonet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大津賀 保信

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 埜村 益夫 TEL 076-421-5665

四半期報告書提出予定日 令和2年4月14日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年5月期第3四半期の連結業績（令和元年6月1日～令和2年2月29日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年5月期第3四半期	34,372	13.1	4,584	25.1	4,642	23.7	3,241	27.1
元年5月期第3四半期	30,401	2.6	3,665	15.1	3,753	15.6	2,550	10.9

(注) 包括利益 2年5月期第3四半期 3,127百万円 (28.2%) 元年5月期第3四半期 2,439百万円 (△3.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年5月期第3四半期	256.48	254.98
元年5月期第3四半期	203.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年5月期第3四半期	52,271	34,998	66.2
元年5月期	46,749	31,349	66.2

(参考) 自己資本 2年5月期第3四半期 34,622百万円 元年5月期 30,942百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
元年5月期	—	18.00	—	20.00	38.00
2年5月期	—	20.00	—		
2年5月期(予想)				26.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

2年5月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 6円00銭

3. 令和2年5月期の連結業績予想（令和元年6月1日～令和2年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,500	5.7	4,700	3.4	4,750	2.3	3,300	△6.1	263.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2年5月期3Q	12,862,364株	元年5月期	12,519,064株
② 期末自己株式数	2年5月期3Q	5,434株	元年5月期	5,384株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2年5月期3Q	12,636,950株	元年5月期3Q	12,513,772株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善し緩やかな回復基調となったものの、米国・中国の貿易摩擦により輸出に影響が見られ、また新型コロナウイルスの感染拡大により日本経済並びに世界経済への影響が懸念されるなど、先行きは不透明な状況が続いております。

医薬品業界におきましては、平成29年6月閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2017」において「2020年9月までに、後発医薬品の使用割合を80%とし、できる限り早期に達成できるよう、更なる使用促進策を検討する」と明記され、国のジェネリック医薬品使用促進政策が実施され、令和元年10月～12月期には数量シェアが77.1%（日本ジェネリック製薬協会調べ）となり、ジェネリック医薬品の普及は拡大しております。さらに令和元年6月閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2019」では「後発医薬品の使用促進について、安定供給や品質の更なる信頼性確保を図りつつ、2020年9月までの後発医薬品使用割合80%の実現に向け、インセンティブ強化も含めて引き続き取り組む」ことが明記されています。しかしながら令和元年10月には消費税率引き上げに伴う薬価改定が実施され、令和2年4月には2年に1回の通常の薬価改定が実施されました。さらに令和3年度からは薬価改定を毎年実施することが決まっており、医薬品業界の事業環境は厳しいものとなることが予想され、当社としても一層の経営効率化への努力が求められております。

このような状況のもと、当社グループは生産基盤の充実を図りながら積極的な営業活動を展開いたしました。

売上高の販売品目ごとの業績は次のとおりであります。

原薬では、血圧降下剤原薬及び消炎鎮痛剤原薬等のジェネリック医薬品向け原薬の販売増加に加えて、仕入商品の一部品目の販売増加もあり順調に推移し、売上高は18,515百万円（前年同期比12.3%増）となりました。

製剤では、自社開発ジェネリック医薬品の販売、医療用医薬品における新薬や長期収載品の製造受託及び一般医薬品の販売増加があり順調に推移し、売上高は15,669百万円（前年同期比14.4%増）となりました。

健康食品他につきましては、市場における競争激化等により、厳しい状況で推移し、売上高は188百万円（前年同期比13.1%減）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高34,372百万円（前年同期比13.1%増）、営業利益4,584百万円（前年同期比25.1%増）、経常利益4,642百万円（前年同期比23.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,241百万円（前年同期比27.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より5,522百万円増加し、52,271百万円となりました。これは主に、その他の流動資産の減少135百万円があった一方で、現金及び預金の増加896百万円、電子記録債権の増加3,341百万円、原材料及び貯蔵品の増加658百万円、その他の有形固定資産の増加1,019百万円などがあったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末より1,873百万円増加し、17,273百万円となりました。これは主に、長期借入金の減少1,218百万円などがあった一方で、支払手形及び買掛金の増加720百万円、電子記録債務の増加1,027百万円、未払法人税等の増加630百万円、その他の流動負債の増加642百万円などがあったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より3,649百万円増加し、34,998百万円となりました。これは主に、資本金の増加509百万円、資本剰余金の増加509百万円、利益剰余金の増加2,737百万円などがあったことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末と同じく、66.2%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和2年5月期（令和元年6月1日～令和2年5月31日）の通期の連結業績予想につきましては、令和元年7月12日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和元年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,819,437	2,715,451
受取手形及び売掛金	9,394,749	9,506,728
電子記録債権	2,789,426	6,131,068
商品及び製品	2,779,722	3,033,439
仕掛品	3,279,460	3,774,329
原材料及び貯蔵品	3,999,889	4,657,953
その他	330,682	195,046
貸倒引当金	△32,824	△28,626
流動資産合計	24,360,544	29,985,391
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,048,900	10,433,947
機械装置及び運搬具(純額)	5,499,332	5,170,366
その他(純額)	2,183,834	3,202,946
有形固定資産合計	18,732,066	18,807,261
無形固定資産		
その他	306,503	297,149
無形固定資産合計	306,503	297,149
投資その他の資産		
投資有価証券	2,779,975	2,721,393
その他	587,053	477,633
貸倒引当金	△17,070	△17,025
投資その他の資産合計	3,349,958	3,182,002
固定資産合計	22,388,529	22,286,413
資産合計	46,749,073	52,271,804
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,086,232	4,806,373
電子記録債務	2,689,526	3,716,808
1年内返済予定の長期借入金	1,851,948	1,638,243
未払法人税等	351,942	982,769
引当金	95,514	371,750
その他	2,542,674	3,185,087
流動負債合計	11,617,837	14,701,033
固定負債		
長期借入金	3,093,607	1,875,018
退職給付に係る負債	506,149	518,604
その他	182,109	178,618
固定負債合計	3,781,866	2,572,240
負債合計	15,399,704	17,273,274

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和元年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年2月29日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,367,774	4,877,467
資本剰余金	4,253,965	4,763,657
利益剰余金	21,301,628	24,039,353
自己株式	△13,222	△13,411
株主資本合計	29,910,146	33,667,067
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	827,724	803,818
為替換算調整勘定	195,230	148,947
退職給付に係る調整累計額	8,941	2,235
その他の包括利益累計額合計	1,031,896	955,001
新株予約権	-	5,594
非支配株主持分	407,327	370,867
純資産合計	31,349,369	34,998,530
負債純資産合計	46,749,073	52,271,804

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成30年6月1日 至平成31年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自令和元年6月1日 至令和2年2月29日)
売上高	30,401,398	34,372,922
売上原価	23,746,489	26,828,116
売上総利益	6,654,909	7,544,806
返品調整引当金戻入額	1,325	2,171
差引売上総利益	6,656,234	7,546,978
販売費及び一般管理費	2,990,617	2,962,528
営業利益	3,665,617	4,584,450
営業外収益		
受取利息	871	500
受取配当金	68,021	64,955
受取保証料	9,631	6,529
為替差益	16,081	-
その他	16,985	20,922
営業外収益合計	111,591	92,909
営業外費用		
支払利息	15,688	9,611
支払手数料	7,543	8,827
為替差損	-	11,948
その他	967	4,484
営業外費用合計	24,199	34,872
経常利益	3,753,009	4,642,487
特別利益		
補助金収入	194,928	53,457
投資有価証券売却益	-	149,852
その他	-	1,052
特別利益合計	194,928	204,362
特別損失		
固定資産除却損	23	9,271
固定資産圧縮損	145,950	47,300
投資有価証券評価損	38,118	15,153
特別損失合計	184,092	71,724
税金等調整前四半期純利益	3,763,845	4,775,124
法人税等	1,224,776	1,550,569
四半期純利益	2,539,069	3,224,555
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11,391	△16,583
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,550,460	3,241,139

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成30年6月1日 至 平成31年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和元年6月1日 至 令和2年2月29日)
四半期純利益	2,539,069	3,224,555
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42,259	△23,906
為替換算調整勘定	△63,589	△66,158
退職給付に係る調整額	6,081	△6,706
その他の包括利益合計	△99,767	△96,770
四半期包括利益	2,439,301	3,127,784
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,469,977	3,164,244
非支配株主に係る四半期包括利益	△30,676	△36,459

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、行使価額修正条項付新株予約権付社債券等に係る新株予約権の行使に伴い、資本金509,692千円、資本剰余金509,692千円がそれぞれ増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金4,877,467千円及び資本剰余金4,763,657千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成30年6月1日至平成31年2月28日)

当社の報告セグメントは、「医薬品事業」のみであり、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自令和元年6月1日至令和2年2月29日)

当社の報告セグメントは、「医薬品事業」のみであり、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。